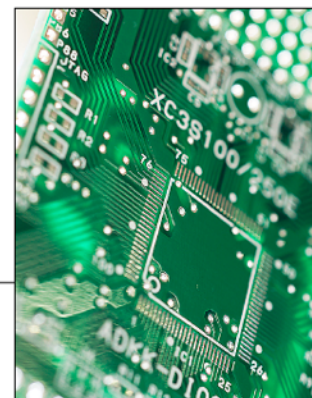




2019年3月期 第3四半期 決算説明資料

証券コード 3559 株式会社ピーバンドットコム



2019年2月13日

1. 第3四半期決算概要

2. 今後の事業戦略

参考資料. 当社の事業概要



1. 2019年3月期 第3四半期 決算概要

決算ハイライト

		前期比	利益率		
業績	売上高	1,482 百万円	0.6%増	↑ ↑ ↑ ↑	
	営業利益	210 百万円	1.9%増		14.2%
	経常利益	213 百万円	1.4%増		14.4%
	当期純利益	159 百万円	2.7%増		10.8%

売上 トピック

- ✓ 売上高は前期比0.6%増、**受注高は前期比4.8%増**
- ✓ 基板設計、製造、実装の**ワンストップ利用**が引き続き拡大
- ✓ 中国景気の急激な変化の中、**当社顧客の需要は安定して推移**
- ✓ 電子工業生産は前年並みで推移し、需要は安定

利益 トピック

- ✓ 採算管理の強化、仕入先の新規開拓等により、**営業利益率14.2%**

第3四半期累計は**最高売上、利益を更新。**

単位：百万円

	前年同期	当第3四半期			2019年3月期 通期業績予想	
	実績	実績	増減額	増減比	計画	進捗率
売上高	1,473	1,482	+8	0.6%	2,102	70.5%
売上総利益	500	525	+25	5.0%	725	72.5%
販売管理費	294	315	+21	7.2%	430	73.2%
営業利益 利益率	206 14.0%	210 14.2%	+3	1.9%	295 14.0%	71.4%
経常利益 利益率	210 14.3%	213 14.4%	+3	1.4%	298 14.2%	71.4%
当期純利益 利益率	155 10.5%	159 10.8%	+4	2.7%	224 10.7%	71.0%

四半期毎の売上累計は**継続して成長**。

(百万円)



※2017年3月期第2四半期以前の数値は参考値です。

売上高は前期比0.6%増、受注高は前期比4.8%増

試作から**量産までの利用が増加し、3Qまでの累計受注高は前期比4.8%増。**
量産は試作と比べ受注から出荷までの期間が長く、**4Q中の売上の見込。**

新規成長+既存産業分野の、情報をセンサーで捉え解析し「見える化」する
IoT関連の受注が拡大。

Eコマースで手軽に利用出来る当社サービスは、
IoT、ウェアラブル、ロボティクス等、成長分野のベンチャー企業にとって
利用しやすいサービス。



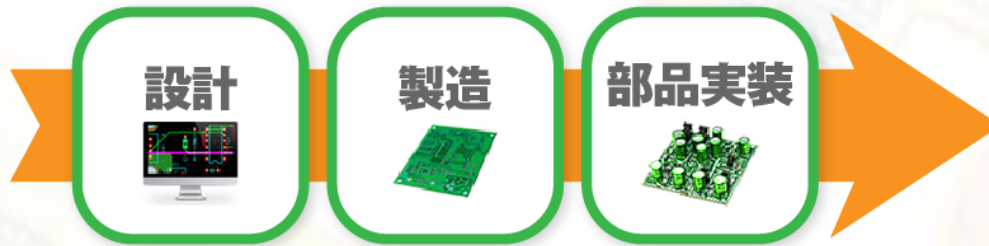
GUGENの大賞作品の
"bioSync"。他人と腕
の動きの共有をして
パーキンソン病等の解
決を目指すウェアラ
ブルデバイス。



千葉工業大学で開発し
ている障害物や段差も
乗り越え可能な8脚型
のロボット。未来の乗
り物のひな型になるか
もしれない。

ワンストップ・ソリューションの拡大

プリント基板の作成プロセスである基板設計・基板製造・部品実装を
ワンストップで利用いただく顧客が継続して増加。



製造サービスの、**品質に満足いただいた方が**
設計・実装に繋がる。

ワンストップ利用率が増加。

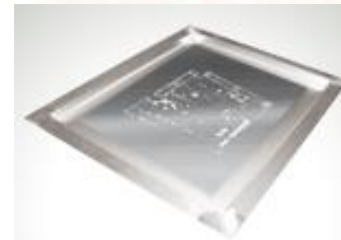
18.6 % → **19.8 %**
(前期3Q累計) (当期3Q累計)

基板の周辺商材である**メタルマスク**や、**ハーネス**の売上も拡大。

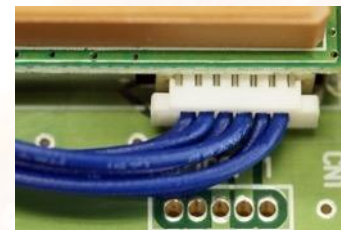
メタルマスク **8.9 %**増

ハーネス **30.0 %**増

※前年同期比



基板に部品実装する際に
使用する治具のメタルマスク。
部品極小化に伴い、需要が増加。



製品内で基板同士を接続する際
などに使用されるハーネス。
車載用途も多い。

国内生産実績は前年並で推移

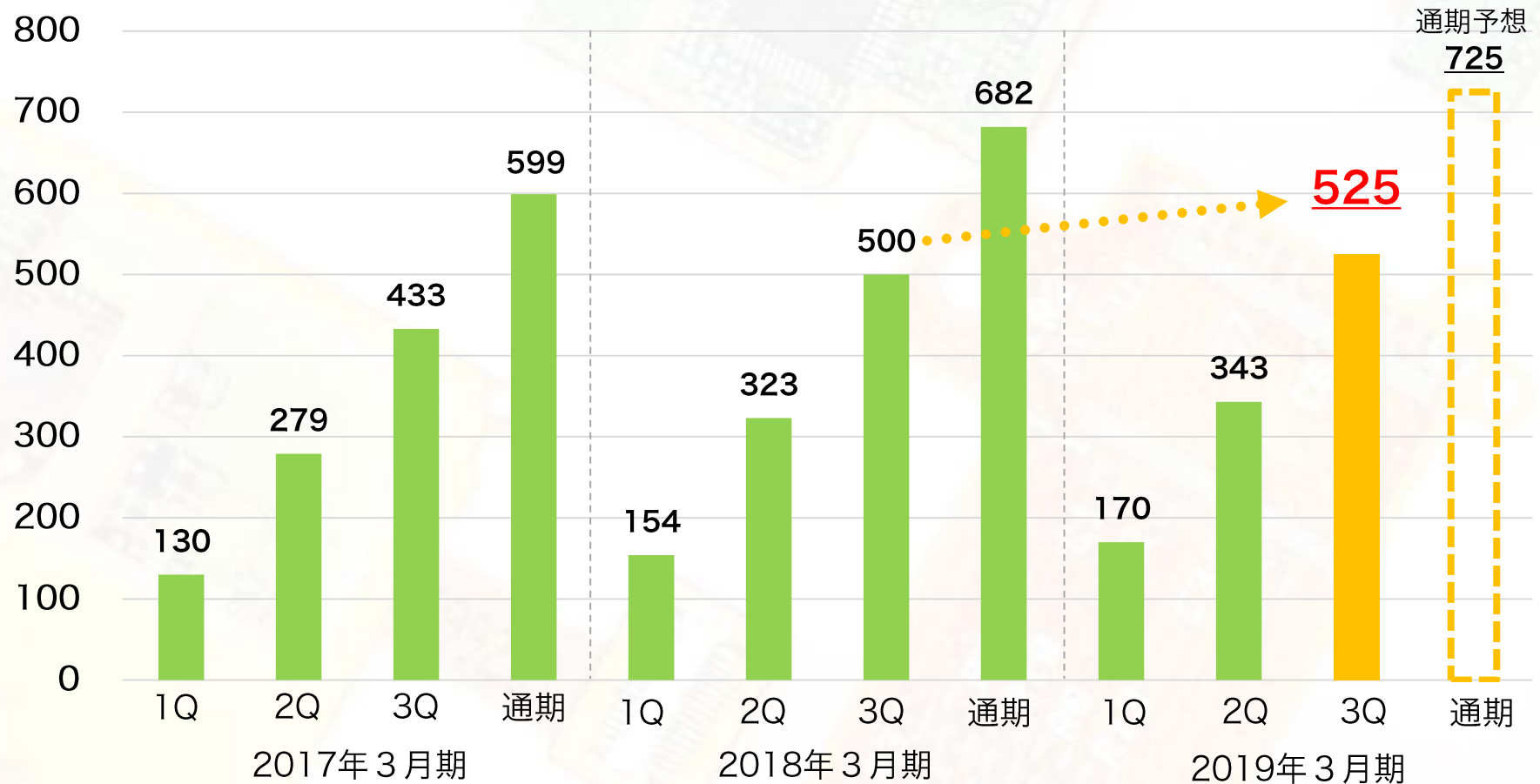
米中貿易摩擦等による中国景気の先行きは不透明で、自動車の輸出や設備投資の減少等が見られるが、特定の業界に偏りない**当社顧客の需要への影響は見られない**。産業機器、電子部品などは増加傾向で、国内の**電子工業生産は前期比98.5%**と前年並。

■国内電子工業生産実績（出展：JEITA 2019年1月発表）

品目	2018年1月～11月累計	
	金額（百万円）	前期比
民生用電子機器	556,385	94.7%
産業用電子機器	3,098,323	100.5%
電子部品	2,507,532	103.9%
└ 電子回路基板	437,760	102.4%
電子デバイス	4,520,345	94.9%
└ 集積回路（IC）	2,534,089	104.8%
電子工業計	10,682,585	98.5%

案件ごとの採算管理を徹底、仕入先の新規開拓等により、
売上総利益525百万円、前年同期比 5.0%増。

(百万円)



※2017年3月期第2四半期以前の数値は参考値です。

経常利益、1株当たり純利益の累計推移

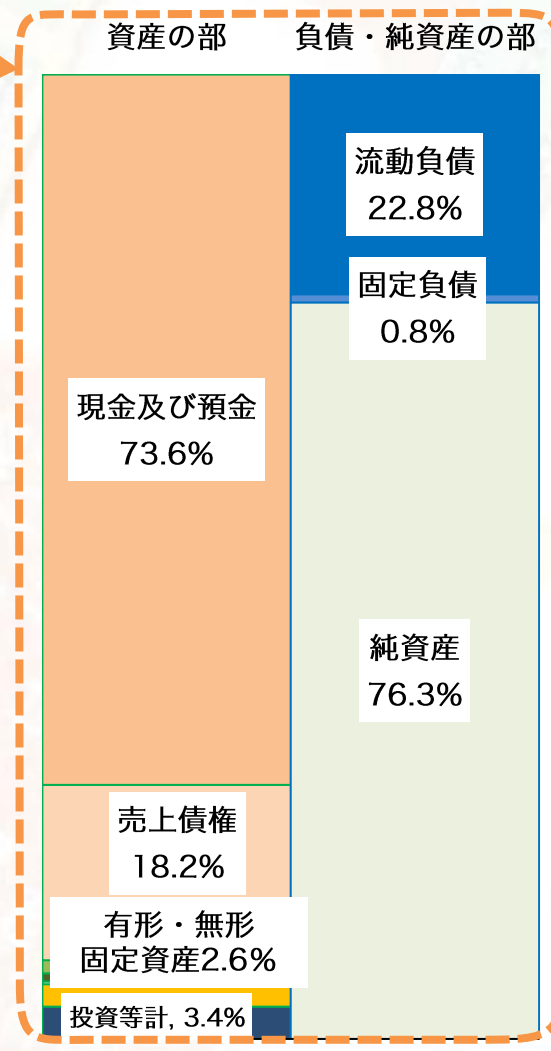
経常利益は213百万円、前年同期比1.4%増加。
1株当たり純利益72.38円、前年同期比2.1%増加。



※2017年3月期第2四半期以前の数値は参考値です。

将来の投資に備える、健全な財務体質。自己資本比率76.3%。

	単位：千円	前期末	2018年 12月末	増減額
資産の部	現金及び預金	790,914	916,621	125,706
	売上債権	260,050	226,320	▲33,729
	棚卸資産	16,996	17,894	898
	その他流動資産	2,510	10,595	8,084
	貸倒引当金	▲4,743	▲1,027	3,715
	有形固定資産	4,047	3,451	▲595
	無形固定資産	30,007	28,957	▲1,050
	投資等計	42,466	41,766	▲699
資産合計		1,142,251	1,244,580	102,329
負債の部	買掛金	206,858	200,770	▲6,087
	その他流動負債	128,994	82,819	▲46,175
	固定負債	9,372	10,490	1,118
	負債合計	345,225	294,080	▲51,144
純資産の部	株主資本	796,625	950,099	153,473
	新株予約権	400	400	0
	純資産合計	797,025	950,499	153,473
負債・純資産合計		1,142,251	1,244,580	102,329

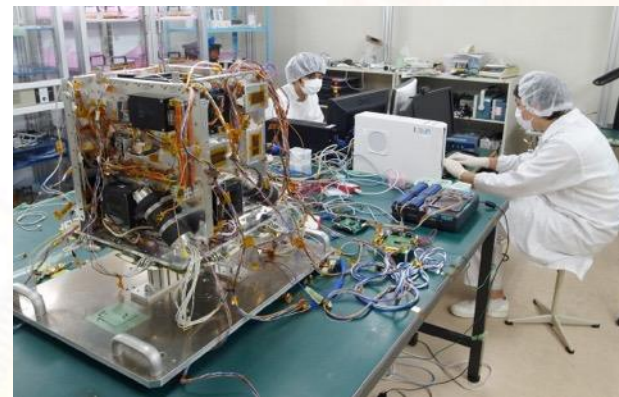


- ▶ **ハーネス加工を1-Click見積webサービス化**し、本格稼働へ。
- ▶ **認知客への販売促進**マーケティングを活性
 - TOPページ初心者向けパネル、よくある質問ページのリニューアル
 - 自社開発のAI解析**による独自のマーケティングオートメーション仕掛け
- ▶ QMS宇宙認証の更新
 - 提携工場で**航空/宇宙産業向け**の品質マネジメントシステム規格「AS9100認証」を更新。



WNISAT-1

アクセルスペース社
小型人工衛星にも
当社基板が採用。



宇宙関連の研究開発を行っている東京工業大学。真空下でも使用可能な品質を提供している。

▶ 業界展示会への出展、セミナー開催

10月、米アナログ・デバイス社主催 アナログ技術セミナー2018への出展

250名の新規ユーザー登録を獲得

11月、当社主催の最新エレクトロニクス技術セミナーを東京/大阪/名古屋で開催

100名の新規ユーザー登録を獲得

常設セミナールームにて、サービス導入セミナーを隔週定期開催

▶ エンジニアに光を！ GUGEN開催

12月、国内最大級ハードウェアコンテスト

GUGEN2018を開催。

開発コンテストMashup Awardsと共催で、
過去最高**500名**の新規ユーザー登録を獲得。

タモリ倶楽部でコンテストの様子が放映予定

2019年2月15日（金）24:20～24:50予定

（テレビ朝日系列：関東圏）

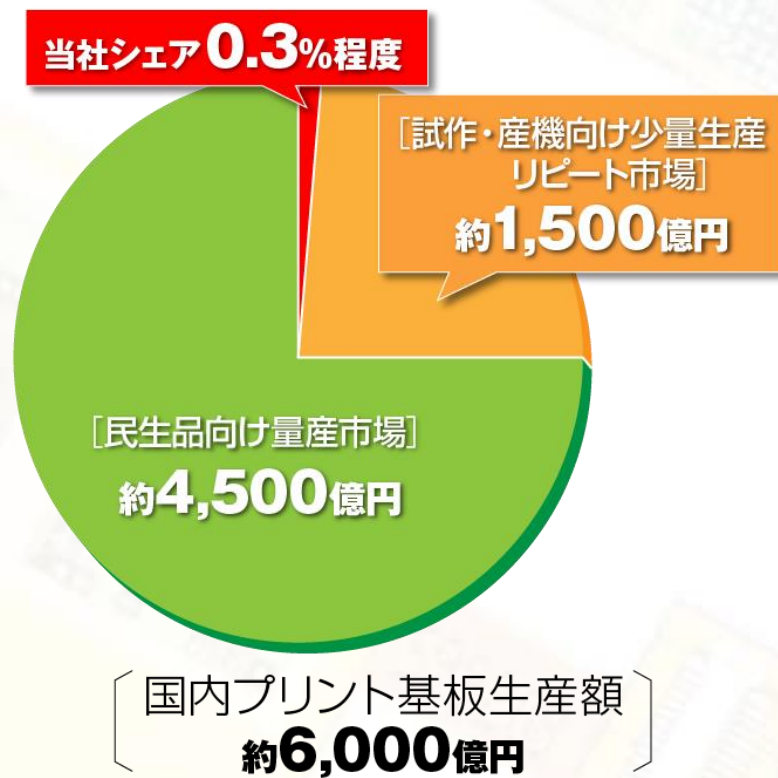


GUGENコンテストは大盛況



2. 今後の事業戦略

2018年のプリント基板国内生産額の予測は6,249億円。
当社の現在の市場シェアは0.3%で、**成長フェーズにある。**

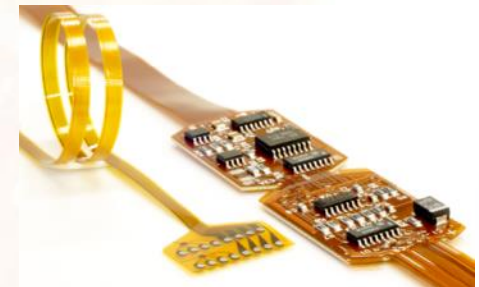


第4の産業革命と呼ばれる“IoT”により
センサー市場は10年で**320%**増加（金額）の
見通し。

**新規産業のIoT、ウェアラブル等に使用される
軽薄短小、屈曲性のあるプリント基板の需要が
拡大見込。**



極小化に用いられる
ビルドアップ工法



屈曲が可能な
フレキシブル基板

経営スローガン「開発環境をイノベーションする」
モノづくりの工程を支える**GUGENプラットフォーム強化に投資**



- ① ワンストップソリューションの拡大
- ② 基板周辺サービスの拡充
- ③ 他社との連携によるバリュー・チェーン強化

GUGEN グゲンプラットフォーム PLATFORM

ワンストップ・ソリューションの利用を促進させ、売上拡大

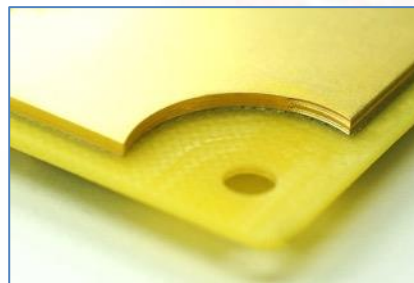
- ▶ **AI技術を駆使したBtoB独自**のマーケティング・オートメーションの確立
- ▶ GUGENプラットフォームを強化し、**モノづくりの工程のカバー領域を拡大**

次世代基板への取り組み（高放熱、大電流）

- ▶ 需要が拡大しているフレキシブル基板、ビルドアップ基板に加え、LED照明などに使われるメタル基板、EV・ロボットなど大電流制御の用途で使われる厚銅基板など、**取扱いラインナップをさらに充実**



金属板がベースの放熱性に優れるメタル基板は、熱を持ちやすい製品に多用



駆動にパワーが必要な製品など、基板上の銅部分が厚く大電流を流せる厚銅基板

ハーネス加工サービスを本格稼働

2018年11月、**車載用など広く需要のあるハーネス**が、1-Click見積で注文可能となるサービスをリリース。取扱いアイテムの拡充によりGUGENプラットフォームの強化を図り、**新たな顧客層の獲得を目指す**。



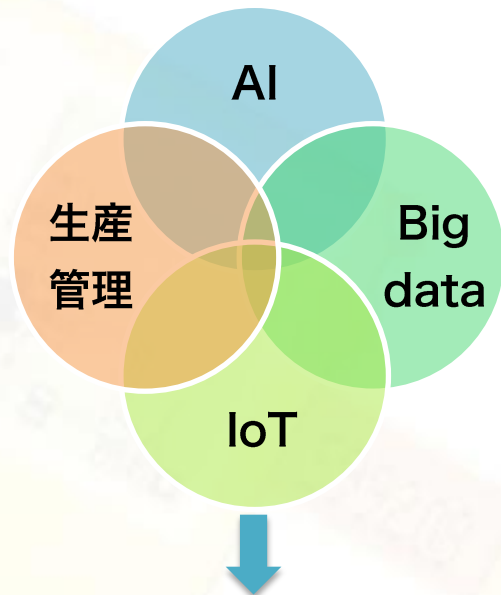
ハーネス加工
サービス
リニューアルオープン
1-Click見積に対応しました!

NEW!

ハーネス加工サービス
1-Click見積

業界唯一のサービス実現へ、海外企業との資本業務提携

2018年12月、スイス法人のSwissmic SAと顧客向けシステム開発で業務提携。
ハードウェア製造に通じ、高いプログラミング能力をもつSwissmic社と、当社の
プリント基板生産・管理技術のノウハウが融合することにより、**新たなサービスの付加価値を創造**し、ワンストップ・ソリューションの更なる拡大を狙う。



サービスの飛躍的向上



東証 兜倶楽部で
共同記者会見



AIを駆使した顧客向けシステムの開発

Swissmics社との共同開発により、今後2年間で従来の「**1-Click見積**」の**利便性を飛躍的に向上**させるシステムを提供、社内外の業務効率化を実現。開発第1弾は、AIによる部品調達回答の自動化。2019年半ばにリリース。





参考資料. 当社の事業概要

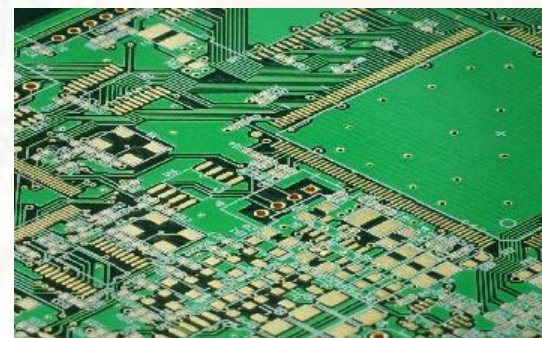
社名	株式会社ピーバンドットコム / p-ban.com Corp.
本社	東京都千代田区五番町14国際中正会館10F
設立	2002年4月（2017年3月東証マザーズ上場）
代表者	代表取締役 田坂 正樹
資本金	155,855千円（2018年12月末時点）
従業員	27名（正社員21名・臨時雇用6名）
事業内容	プリント基板のマーケットプレイス P板.com（ピーバンドットコム）を中心とした、 ”GUGENプラットフォーム”の運営
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人

開発環境をイノベーションする

テクノロジーを進歩させることで、
社会問題解決を進める技術と製品を生み出し、
人類の平和と繁栄を創り出す。

当社が取扱う商材のプリント基板とは、自動車、テレビ、スマートフォン、医療機器、発電機など、**”電子機器”**に**必ず使われる**主要な部品。

一つ一つの製品ごとに使われる基板は、**全てオーダーメイド**品。



プリント基板を上から見た様子

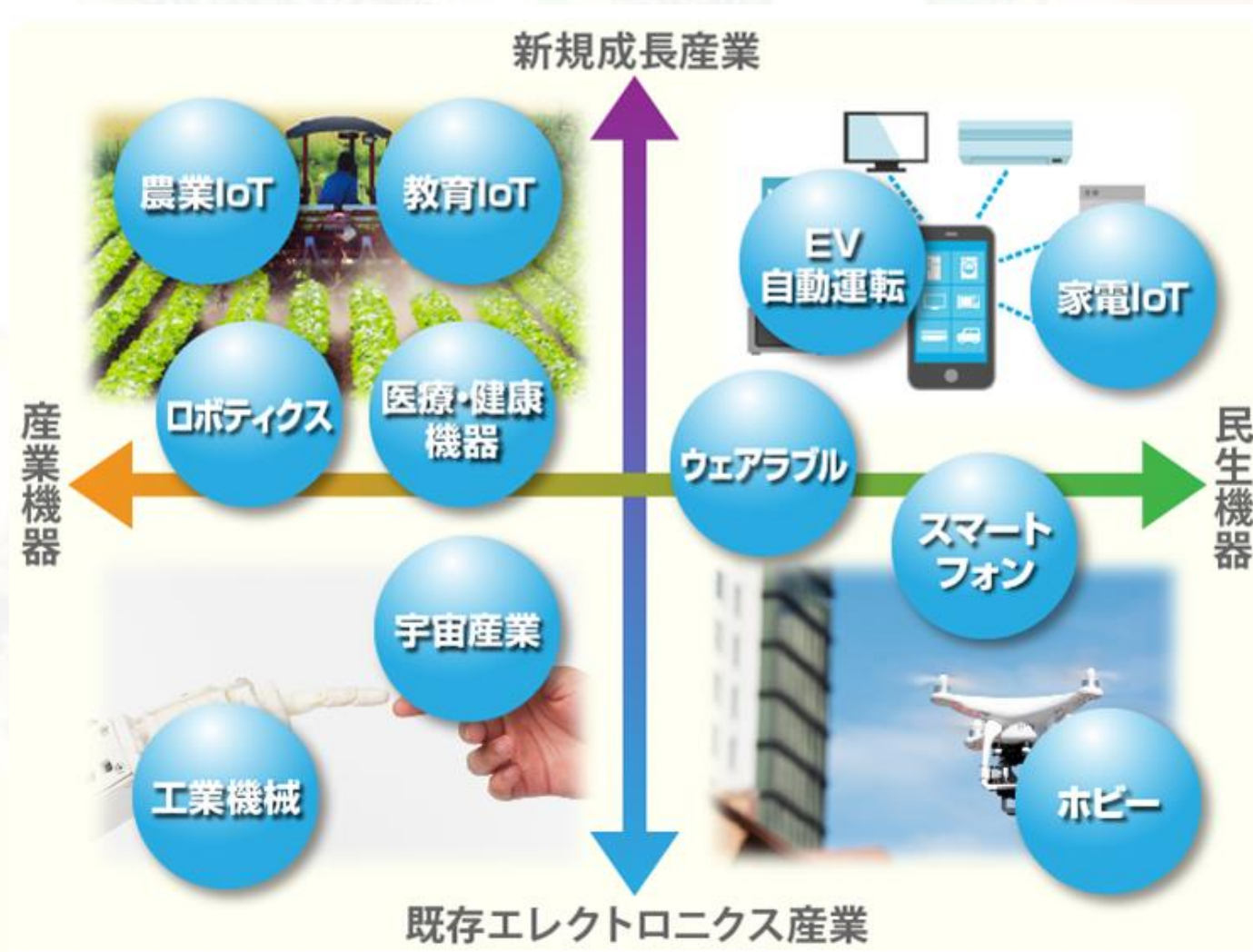
プリント基板を取り巻く産業

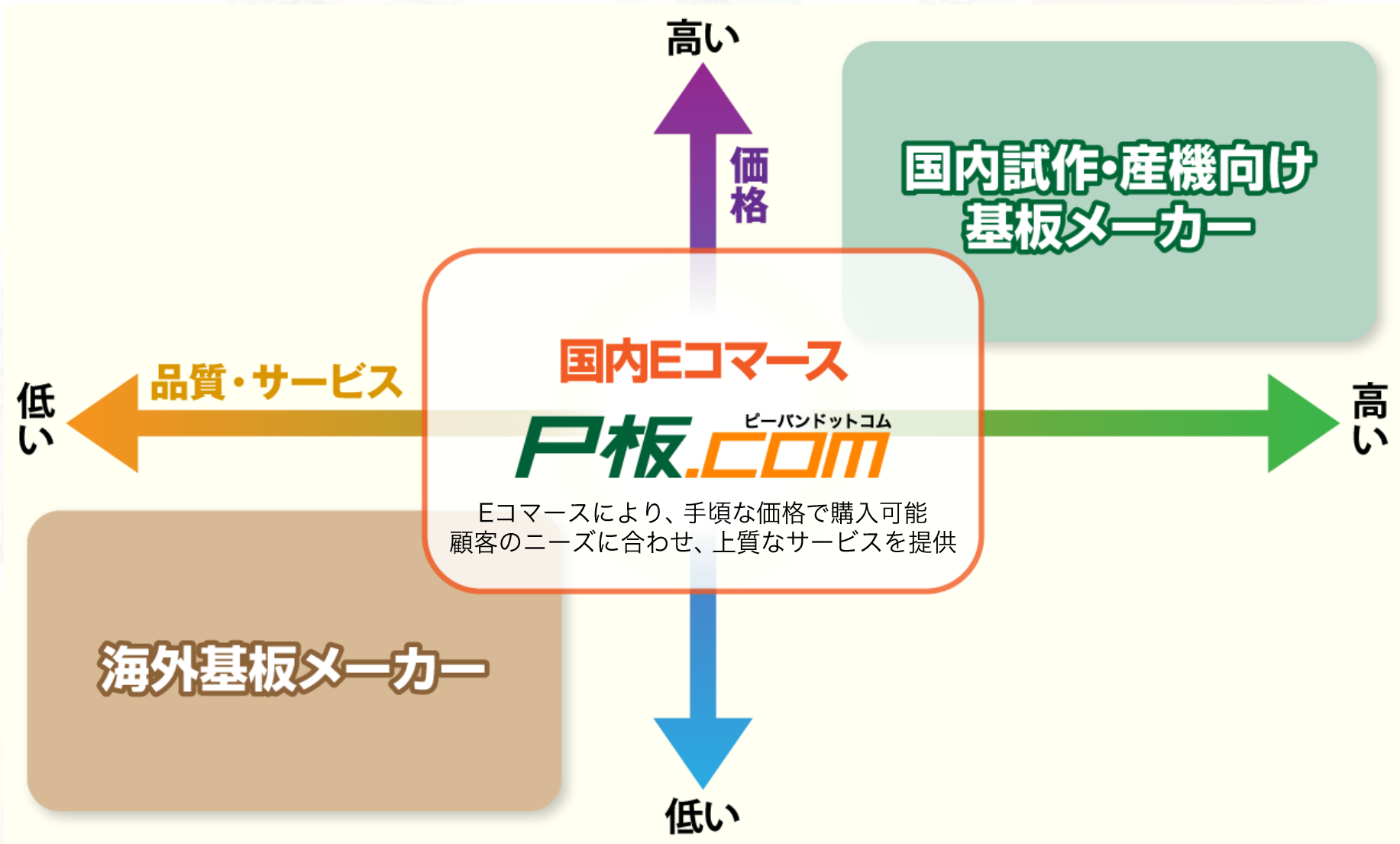
既存のエレクトロニクス産業

+

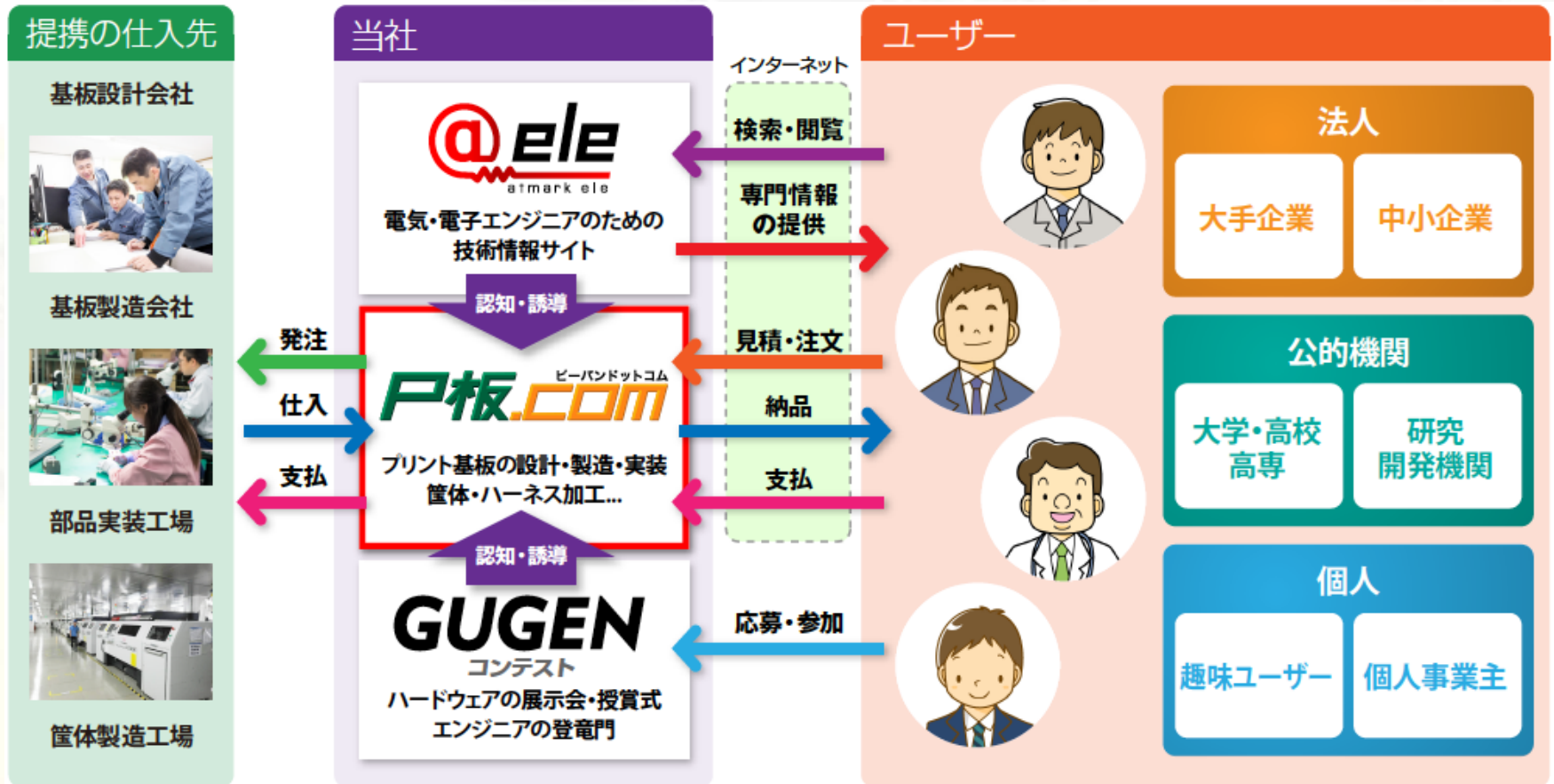
拡大傾向の産業分野

**IoT・宇宙開発・EV (電気自動車)
自動運転・ロボット etc...**





プリント基板が誰でも手軽に注文できる仕組みを提供





プリント基板のEコマースサイトを運営

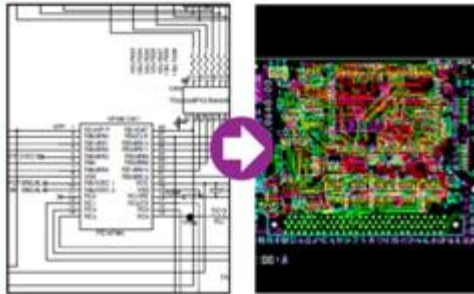
⇒ <https://www.p-ban.com/>

大企業から中小企業、個人、学校法人まで5万ユーザーが登録、
設計・製造・実装の見積、注文をインターネットで完結出来るのはP板.comだけ！

プリント基板の 設計サービス

(無料CAD提供サービス含む)

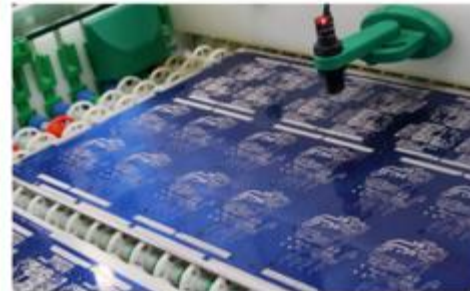
電子回路図(トランジスタ、半導体等の部品を繋げた図)を元に、部品の位置を決定し、プリント基板の製造に必要なレイアウトデータを設計する。



回路図データから、基板製造用データを作成。

プリント基板の 製造サービス

製造用のデータを元に、銅はくが張られた基板から不要な銅を科学反応で除去し、データ通りのレイアウトとなるように基板を製造する。

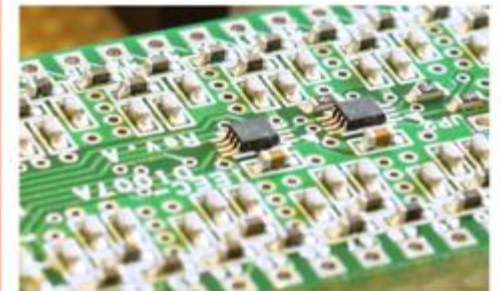


基板製造用データを元にプリント基板を製造。

プリント基板への 部品実装サービス

(部品調達サービス・無料部品提供サービス含む)

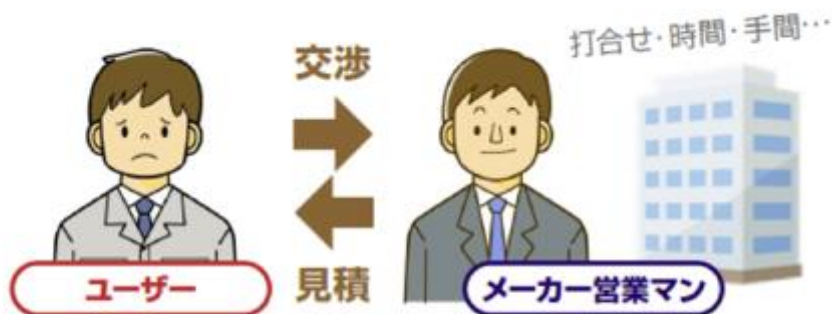
製造した基板の上に、電子部品をはんだで取り付ける。部品の数や形状により、技術者による手実装と機械(マウンター機)実装を使い分ける。



プリント基板に電子部品をはんだ付け。

〈従来の購買方法〉

営業マンとの対面で交渉し見積提示、発注に至る



交渉がメーカー主導で、開発者の負担が多い
もっと手軽に基板の作成を行いたい!

定価がなく、メーカーの言い値

高額なイニシャル費用が掛かる

納期は工場ラインの繁忙状況に左右される

纏まった枚数がないと受け入れられない

〈当社サービス〉

ウェブサイト上で自動計算で見積提示、発注出来る



誰にも公平な見積が提示され、余計な交渉が不要!
誰もが手軽に基板を作成出来るサービス

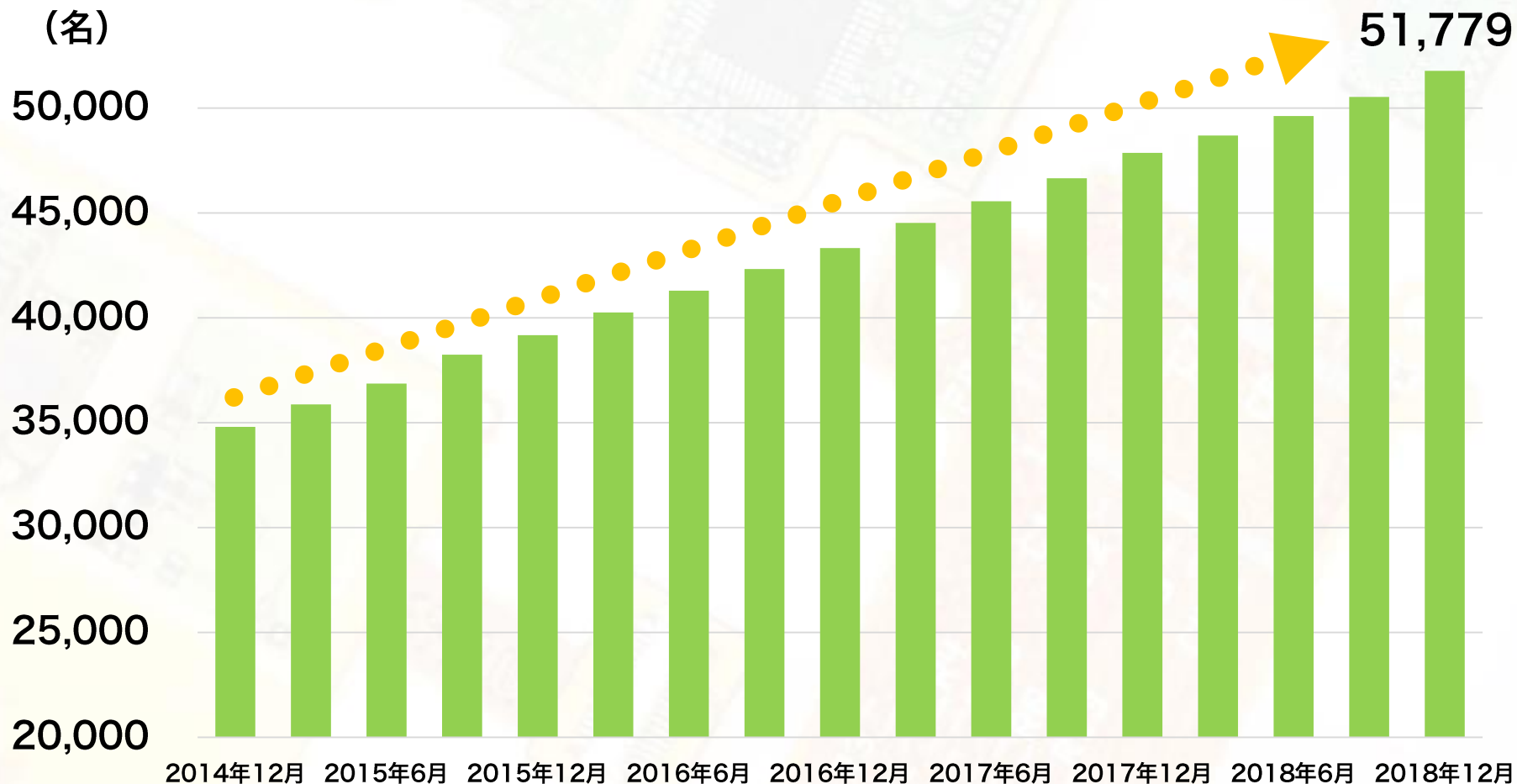
仕様で価格が決まる

イニシャル費用が無料

仕様で納期が決まる

1枚から注文可能

登録ユーザー数は、累計5万名を突破、
継続成長を目指す。



当社は、2017年3月期第3四半期より四半期財務諸表を作成しており、2017年3月期第2四半期以前は監査法人による監査を受けておりません。

よって、本資料における2017年3月期第2四半期以前の数値は参考値として掲載させていただきます。

実際の業績等は今後の様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。

本資料は、投資勧誘目的で作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料を全面的に依拠した投資判断を下すことはお控えください。